（別記様式第１２号）（第３の８関係）

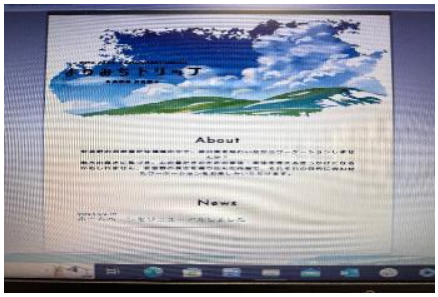
（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	穂高地域で新たなワーケーションスタイルの展開事業
事業主体 （連絡先）	安曇野・穂高リゾートワーケーション研究会 事務局　穂高温泉供給㈱　電話 0263-83-2912
事業区分	（6）産業振興、雇用拡大に関する事業（オ　その他）
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,739,109 円（うち支援金：1,375,000 円）

事 業 内 容

・一般の企業人及び親子によるワーケーションとして、働くと体験をセットにモニターツアーを実施した。
・働く、泊まる、体験、移住定住等のカテゴリーでのワンストップによる一体的な情報発信のためにサイトを構築するとともに訴求力を高める複合的な情報発信を構築した。
・移住定住窓口の複数設置を図り、不動産情報も併せた積極的な発信を行い、この地域の住み良さを提案し移住に繋げた。



【サイト画面】

【目標・ねらい】

①関係人口の拡大
②移住定住の推進
③異業種間の連携強化
④地域発の情報発信の充実

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・モニターツアーとして、この中信地域という首都圏からは時間的に厳しい地域だが、余暇的を含めた一体的なサービスの提供としては、新しい取組みとして評価を受けた。一般モニターツアーは１組３名、親子モニターツアーは 3 家族 8 名の参加を得て、参加者からは参加できて良かったとの意見を聴き、取組みの方向性を確認できた。

・ポータルサイト構築が比較的に時間を要し、その成果は今後の課題となったが、カテゴリーを区分しワンストップでの情報提供、訴求力を高めるために全国展開の「ワーケーションズ」に地域特集サイトの入口設け、この地域ならではの複合的な状発信となった。コンテンツは 33 の情報発信となり、初期の情報発信量としては一定の確保ができた。

※自己評価【B】

【理由】
新しい取組みの中で確実な成功体験を得るまでにはいかない面もあるが、取組みの方向性については合意形成ができ、今後の展開に向け関係機関との連携強化が必要。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・研究会という組織の中で、個々にそれぞれ多様な業務を担っている中で、組織としての議論に欠けていたことは認めるが、今後はサイトの基礎的な部分が構築されており、今後の活動を通じてより良い情報発信になるよう修正、新屋なコンテンツの発掘、適時・適切な情報発信他に取り組み、関係人口の増加を推進する。

・安曇野市などと連携して首都圏等へのワーケーションや移住定住の定着を図るためのセミナーを開催する。

・企業合宿型のワーケーションの誘致に向けて先進自治体との情報共有を図り、企業に対して積極的に手配型旅行商品の情報発信を DM 等で積極的に送信していく。

・移住定住相談窓口においては、イベント情報の発信や不動産情報などを積極的に発信し、定住や 2 拠点対策を訴えていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある